



まめ知識

■千葉県立房総のむらに行ってみよう



商家の町並み

左の写真は、印旛郡栄町にある千葉県立房総のむらに再現された江戸時代後期から明治時代初期の町並みです。この中にはそば、呉服、酒・燃料、木工、本・瓦版かわらばんなど、16の業種の商家があり、それぞれ特徴のある店



商家での体験の様子

のつくりを見学できます。また、千葉県に伝わる伝統技術の実演や体験も行われています。

房総のむらに再現された商家の建物には土蔵づくりと言われるものがあります。土蔵づくりの建物にはどのような特徴があるのか、なぜそのようなつくりの建物が建てられたのか調べてみましょう。

房総のむらの広大な敷地の中には、江戸時代の佐倉の城下町をモデルにした武家屋敷や、安房、上総、下総それぞれの地域の特徴的な農家も再現されています。また、それぞれの農家には水田や畑も再現さ



安房の農家



夏の谷津田

れ、千葉県で伝統的に栽培されてきた農作物が植えられています。農家のまわりの林は昔と同じように管理され、伐採した木をリサイクルして炭を作る様子も見学できます。さらに世代を越えて受け継がれてきた「年中行事」の実演見学や米作りなどの農作業の体験もできます。地域ごとの農家のつくりの違い、千葉県にはどのような伝統的な行事が伝わっているのか、などについて調べてみましょう。

■龍角寺古墳群・岩屋古墳に行ってみよう

右の写真のピラミッドのような山は、岩屋古墳という7世紀に築かれた一辺80mの方墳です。7世紀の古墳としては近畿地方にある大王の墓おおきみよりも大きく、日本最大の規模です。この古墳は、印旛郡栄町と成田市にまたがる龍角寺古墳群いっかくの一角にあります。



岩屋古墳



空から見た岩屋古墳



はたけ 植輪を並べた様子を復元した 101号墳



「古墳広場」の前方後円墳



ふとぎ 風土記の丘資料館の展示



「房総のむら」アクセス

[写真提供：千葉県立房総のむら]